



2022年3月22日

各位

会社名 保土谷化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 松本 祐人
(コード番号 4112 東証1部)
問合せ先 常務執行役員
兼経営企画部長 辻次 賢二
(TEL 03-5299-8019)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年10月29日に公表した2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2022年3月期 通期連結業績予想の修正

(2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年10月29日)	40,000	5,000	5,000	2,500	円 銭 315.75
今回修正予想(B)	42,000	6,500	6,500	3,000	378.90
増減額(B-A)	+2,000	+1,500	+1,500	+500	—
増減率(%)	5.0	30.0	30.0	20.0	—
(参考)前期実績 (2021年3月期通期)	41,199	5,444	5,841	3,119	394.25

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を
2022年3月期連結会計期間の期首から適用しております。

2. 修正の理由

2022年3月期の通期業績予想につきましては、欧州における混乱と原燃料高騰の継続、米国等の地域におけるインフレ等、依然として不確実性が高い状況にあります。これらの影響により当社グループも当第4四半期は厳しい状況が継続しておりますが、韓国子会社SFCのPCR診断キット用材料の安定的な販売の継続、有機EL材料の堅調な販売、並びに、販売管理費をはじめとする固定費の削減が寄与したことにより、連結業績が当初の予想を上回る見込みとなりました。これらを踏まえ、2021年10月29日に公表いたしました通期の連結業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

なお、当第4四半期におきまして、保有している社員寮の設備の老朽化及び利用者の減少を踏まえ当該不動産に係る減損損失を計上することにより、約532百万円の特別損失の計上を見込んでおります。

また、2022年3月16日に発生した宮城県・福島県での地震による影響につきましては、現在、精査中であり、上記の今回修正予想には見込んでおりません。

※上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、今後の様々な要因によって
予想数値と異なる可能性があります。

以 上